



株式会社 お仏壇のやまきにおける取組

1 時間外労働時間を一人月間 10 時間以内に制限

社内 IT システムを改良し日々の作業負荷を軽減させたり、社員同士が声を掛け合い助け合うことで個人の業務負担を軽減させるなど、生産性向上の工夫を数多く行いました。その結果社員一人ひとりが、作業の効率性を求めて個人の能力を最大限に活かしながら業務を行うようになり、店舗の時間外労働は社員一人当たり一日 15 分程度に軽減し、一ヶ月換算で約 5 時間に改善され、目標をクリアすることができました。

2 有給休暇の年間消化率 90 %以上の義務付

改善策の一つとして、従来一定のスキルを持った社員が処理していた専門的な作業を廃止し、すべての社員が幅広く行えるよう標準化された作業内容に改めました。誰が休んでも支障がでない店舗の運営を実現させ、誰でもが休暇を取りやすい職場環境を整えました。

3 ファミリー休暇制度の導入

家族行事の利用に限定した公休日を含む連続 5 日間の有給休暇取得制度で、利用時は会社から 3 万円（21 年実績）の手当が支給される独自の休暇制度です。毎年ファミリー休暇制度の消化率は 100 %で、有給休暇の取得促進にもつながっています。

4 短時間勤務制度の導入

フルタイムの正社員、パート社員の二種類に加え、「週休 3 日の 9:00～16:00 勤務」を新設しました。これは子育て中の主婦が育児に支障のない時間帯で勤務できる就業制度を考慮した施策で、現在 4 名が利用しています。（平成 22 年実績）

これらの取組みが高く評価され、(株)お仏壇のやまきは、平成 22 年度 静岡市ワーク・ライフ・バランス大賞を受賞しました。

お仏壇のやまきの考え方

～家族と過ごす時間の最大化～

お仏壇のやまきで販売する商品は仏壇や墓石で、それは「一生に一度の買い物」と言われ、お客様が亡くなられた故人との「絆」を確認する財として購入されます。そういった目的をもって来店されるお客様に対し、最適な提案を行うためには、社員一人ひとりが、お客様が抱く家族を思う気持ちを理解した提案を自然体で表現することが求められます。その課題を解決する方法として、社員全員が自らの家庭生活を通じて暖かな家族の在り方を理解することが大切であると考えました。「家族と過ごす時間の最大化」＝「会社に滞在する時間の最小化」というロジックを組み立て、働き方の見直しに着手することになりました。

WLB 施策の導入は、財務・組織・営業などの生産性向上につながっており、また、社員、企業、お客様（社会）に対し、「三方良し」の利益を創出しています。

株式会社 お仏壇のやまき

設立：1964 年 10 月 1 日
資本金：36,000 千円
代表者：浅野 秀浩（代表取締役社長）
従業員：32 名
事業内容：仏壇仏具の製造・販売
 仏壇リフォーム（修理・再生）
 墓石・墓園の販売
静岡県に 6 店舗

（本店所在地）
静岡県静岡市葵区本通り 8-41-1

詳細は…

<http://www.yamakibutsudan.co.jp/>